

プロポーザルによる受託候補共同企業体選考結果票

以下の業務について、プロポーザルにより選定した受託候補共同企業体と契約を締結したので、選考結果を公表いたします。

1 対象業務

業務名	会津若松市庁舎整備実施設計技術協力及び調査業務委託		
委託期間	令和3年7月9日～令和4年10月31日	担当課	企画調整課庁舎整備室
契約の相手方	戸田・共立・弓田技術協力等共同企業体 代表者 戸田建設 株式会社 東北支店 株式会社 共立土建 株式会社 弓田建設		

2 提案等の選考結果

審査日	提案書審査	令和3年7月4日	ヒアリング審査	令和3年7月4日
選考委員名	<ul style="list-style-type: none">菅家 登 (会津若松市 財務部 公共施設管理課長)角田 誠 (東京都立大学法人 東京都立大学 都市環境学部 教授)長島 敏彦 (一般財団法人 ふくしま市町村支援機構 建築設備部長)速水 清孝 (学校法人 日本大学 工学部 教授)丸山 健史 (会津若松市 建設部 建築住宅課長) <p>(五十音順、敬称略)</p>			
審査方法・受託候補者選定の要因	<p>審査は、1次審査及び2次審査の二段階方式にて行った。</p> <p>1次審査は、企業等の実績、配置予定技術者の保有資格、事業への取組方針等を書類により審査し評価を行い、参加企業6者のうち、3者を2次審査参加企業として選考した。</p> <p>続く2次審査では、1次審査で選定された3者が代表となり、それぞれが市内建築企業との間で組織した共同企業体によって作成、提出された業務等の実施方針や市内事業者等の活用提案、VE提案等の審査資料に関し、プレゼンテーション及びヒアリングを行い、選考委員5名全員が提案内容を確認した後、各委員が評価要領に基づいて個別に提案に対する評価を行った。</p> <p>その結果、評価点の合計得点が最高となった提案者を受託候補者として選考した。また、次点となった提案者を次点候補者として選考した。</p>			

各提案者の2次審査の提案に対する選評は以下の通りである。

なお、1次審査において、提案者は3者ともに、庁舎建設や歴史的建築物の保存等に関する施工実績が豊富で、極めて高い技術力を有することに加え、多くのE C I方式による業務の経験があること、積極的な地元企業との連携方針も確認されており、以下はそれを前提とした記述である。

最優秀者（受託候補J V）：戸田・共立・弓田技術協力等共同企業体

代表者：戸田建設株式会社東北支店

構成員①：株式会社共立土建

構成員②：株式会社弓田建設

構成員協力企業：武田土建工業株式会社

本事業に対する課題とその対応方針を明確にし、市・CM・設計者等とのコミュニケーションを重視した体制・合意形成の工夫により、事業の円滑な推進の実現を目指した提案となっている。

特に、工程計画における工期短縮とその方法や、コスト増減の見える化などのコスト管理手法は高く評価できる。また、地下水や振動対策などの周辺環境への配慮に加え、施工中の再生エネルギーの活用やSDG sの取組などについても具体的で実現性の高い提案がなされている。

本事業に対する真摯な検討姿勢と、事業の成功に向けた取組意欲の高さが感じられる提案として総合的に評価された。

選 評

優秀者（次点候補J V）：大成・東北入谷・南会西部技術協力等共同企業体

代表者：大成建設株式会社東北支店

構成員①：株式会社東北入谷まちづくり建設

構成員②：株式会社南会西部建設コーポレーション

構成員協力企業：田中建設工業株式会社

難易度の高い本事業に対し、歴史的建築物の保存や免震レトロフィットの実績のある設計担当者の配置や、コスト管理における組織のバックアップ体制など、安心感のある業務実施体制の提案となっている。

また、工期短縮に向けた取り組みや独自の保存調査、工事段階の継続コスト管理など、本事業特有の課題への理解と技術力の高さがうかがえる。一方で、市内企業の技術力向上及び人材育成に関しては、多様な提案がなされたものの、特段の評価を得るまでには至らなかった。

最優秀者及び優秀者以外：共同企業体（非公表）

業務期間を5つのステージに分け、ステージ毎に合意形成を行うなど業務実施方法に独自性のある提案となっている。施工上の課題と解決手法においては、施工手順と管理のポイントが具体的に提案されており、歴史的建築物の保存や免震レトロフィットに対する高い技術力がうかがえた。

施工計画については、施工上のポイントが明確に案されている一方、具体的な短縮期間等の提案がなく、工程計画に対する提案の評価が得られなかった。

3 選考結果

	評価項目		大成・東北 入谷・南会 西部共同 企業体	共同 企業体 (非公表)	戸田・ 共立・ 弓田共同 企業体
一次 審査	(A) 参加企業の実績	同種工事の完了した施工実績	50	50	50
	(B) 配置予定技術者の技術力	ア. 配置予定技術者の同種・類似工事の施工実績	18	23.4	19.2
		イ. 配置予定技術者の資格	15	19	19
	(C) 事業に対する取組方針		38	36	32
小 計 ①			121	128.4	120.2
二次 審査	(A) 技術協力業務及び工事施工における実施方針	ア. 技術協力業務の実施方法	46	44	42
		イ. 技術協力業務の実施体制及び施工時の実施体制	44	38	44
		ウ. 施工計画・工程計画についての提案	88	64	92
		エ. 施工上の課題に対する技術的所見	92	84	88
	(B) 会津若松市内事業者等の活用に関する提案	ア. 会津若松市内建築企業等の技術力向上及び人材育成の取組	26.6	29.4	30.8
		イ. 会津若松市内での建設資材の購入計画、地域産材の活用方法、地場産業の活用方法及び建設事業者以外の業種の活用方法	21	23	23
		ウ. 会津若松市内建設事業者の活用方法	100	100	100
		エ. 会津若松市内建築企業の参画推進	50	50	50
	(C) 価格提案		350	350	350
小 計 ②			817.6	782.4	819.8
合 計 (①+②)			938.6 点	910.8 点	940.0 点
			1000 点中	1000 点中	1000 点中

※ 各参加者は受付順に記載しています。